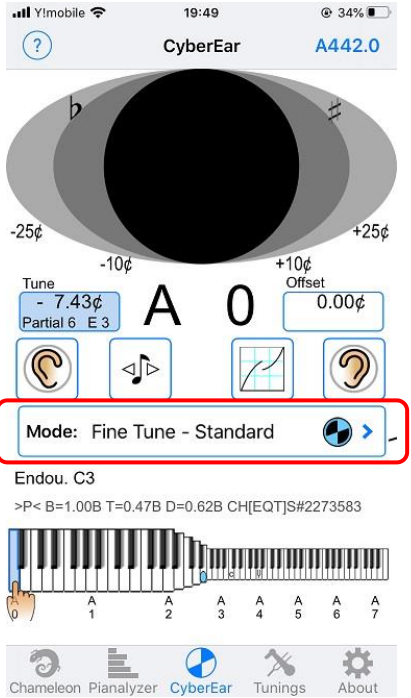


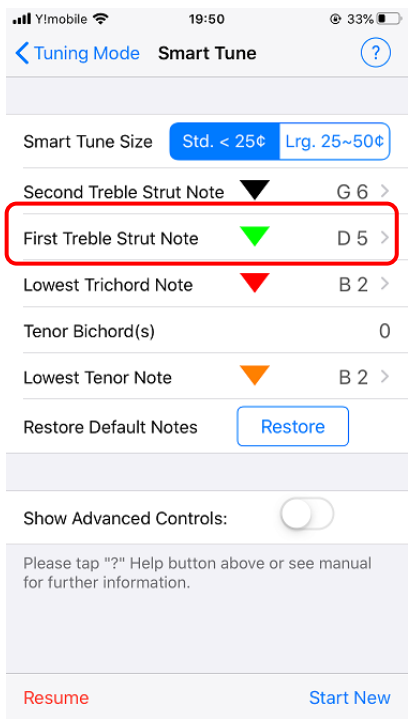
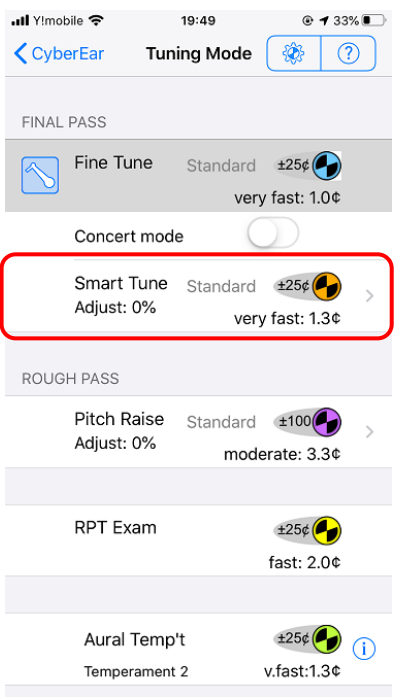
★まずは代理店サイトの RCT ユーザーコーナー左手にある、「iRCT を簡単に使ってみましょう」(基礎編)の P.4 をご参照、6.の説明もお読みください。 http://www.piano-re.com/rctuser_new.html

サイバーイヤの画面(下)を開きます。

CyberEar 赤枠内が Fine Tune であればここをタップ、Smart Tune に替える。



右画面に変わる。
Smart Tune をタップする。
モードが Smart Tune であればそのままタップ





この First Treble Strut Note とはどの音であるかのご質問がありました。以下回答
 First Treble = 中音部
 Strut Note = 鉄骨部分の音 (直訳)
 = 中音部の最高音
 Treble は日本で言う中高音部全体を指します。
 最初の Treble = 日本式には中音部となります。
 ちなみにその上の Second Treble Strut Note は次高音部の鉄骨の脇(低音側)の音です。

★ピアノライザーは倍音の出方やハンマーヘッド/弦交換のビフォー/アフターをお客様にお見せるのにもまた自身の認識のためにも有用な画面です。

ピアノライザーグラフ画面は基本的に後で消えてしまい、再表示はできません。


これを保存したい、とのご希望がありました。 (⇒保存方法 下方※へ)

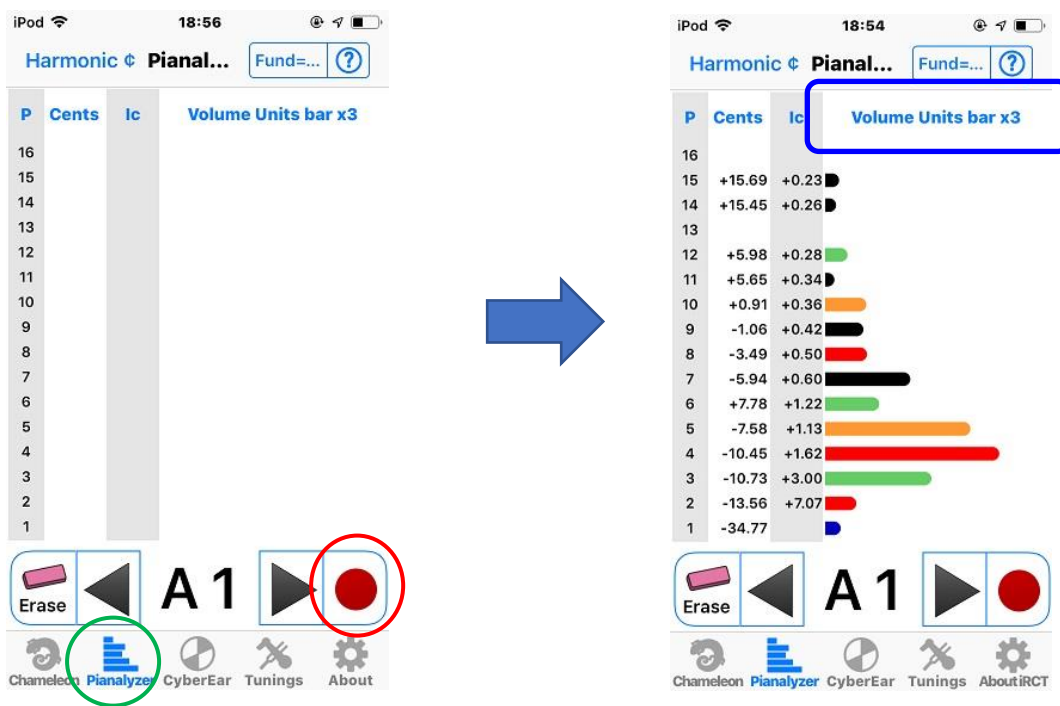
<ピアノライザー>  下部 5 つアイコンの内、Pianalyzer をタップすると左の画面になります。倍音表示をさせたい音を▼で選びターゲットの音に設定します。

 赤い●をタップすると●が■に替わり、右上に耳のマークが出ます。ターゲットの音を叩いて長く押します。

この例では A1 です。耳が聴いている様子になり、止まると右側のようにグラフが出ます。

これがピアノライザーグラフです。

 Volume Units Bar をタップすると棒グラフを縮小または拡大できます。倍率は変わりませんので見やすい縮尺にしてください。



※ アップルデバイス (機器) ではスクリーンショットと言って、今表示されている画面を画像として保存する機能があります。OS のバージョンにより方法が異なりますが、いずれにしても 2 つのボタンを同時に押すなどの方法が多いようです。操作方法はインターネットで[スクリーンショット]のキーワードにより検索してください。 (アップルテクニカルサポート⇒0120-277-535)

始めうまく撮れないことがあります。すぐに上手に操作できるようになります。

この説明に挿入した画像もスクリーンショットで撮った画像です。画像に保存するといつでも <写真> アイコンから取り出すことができます!

皆様のご質問からこの方法をご紹介しますことができました! ご質問ご希望お待ちしております。